

2016 年 4 月 19 日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池、 農地を活用した 16 件の太陽光発電所に採用

米スタテンソーラー社が進める農地に適した発電所開発に協力

【東京－2016 年 4 月 19 日】－ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場 2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、カリフォルニア州の大手 EPC プロバイダーであるスタテンソーラー社が手掛ける 16 件の太陽光発電プロジェクトにおいて、CIS 薄膜太陽電池が採用されましたのでお知らせします。これらの太陽光発電所は、カリフォルニア州トゥーレアリ郡およびカーン郡にあるアーモンド、ピスタチオ、葡萄などの農場に立地します。各発電所の規模は最大 522 kW で、現在 16 件のうち 3 件が既に運転開始しており、残る 13 件についても 2016 年中に竣工する予定です。

今回のプロジェクトでは、スタテンソーラー社が、同社独自技術で開発した農地の地形を活かすことの出来る架台など、革新的な施工技術を採用しています。またソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池の採用によって、熱や影などの影響を受けにくく、高い実発電量が期待されています。その結果、低コストで開発される発電所群は法令に合致することは勿論のこと、各農場の既存施設と共存し、長期に亘る安定的で優れた経済性をもたらすビジネスモデルを提供します。

ソーラーフロンティア・アメリカズの最高執行責任者（COO）であるチャールズ・ピメンテルは、次のように述べています。「スタテンソーラー社は、太陽光発電における専門知識を活かして、農家が運営経費を削減するために役立つエネルギーソリューションを提供しています。これらの農場向けの太陽光発電プロジェクトにソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池が採用されたことを嬉しく思います。」

スタテンソーラー社の会長兼マネージングディレクターであるサンディパン・バノット氏は、次のように述べています。「当社は、ソーラーフロンティア製品の品質と性能、および顧客サービスに満足しています。当社は、暑いセントラルバレーにおいてお客様のニーズに合った最高のソリューションの提供を目指しておりますが、ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池は実際の設置環境下において優れた実発電量を発揮すると言う点で最適な選択肢です。」

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池モジュールは、全自動かつ最先端の国富工場において最高水準の品質を実現しています。CIS 薄膜太陽電池モジュールは、従来のシリコン系と比較して、実際の設置環境下において高い実発電量を実現しており、投資家やプロジェクトディベロッパーから着目されています。ソーラーフロンティアは今後とも、世界中のお客様に快適でクリーンな暮らしをお届けしてまいります。



ソーラーフロンティア製 CIS 薄膜太陽電池が採用された米カリフォルニア州の太陽光発電所
(写真提供：スタテンソーラー社)

以上

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002,T）の 100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011 年 2 月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力 900 メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証（JIS Q 8901）」などの第 3 者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第 2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792